



バンコク便り



1. はじめに

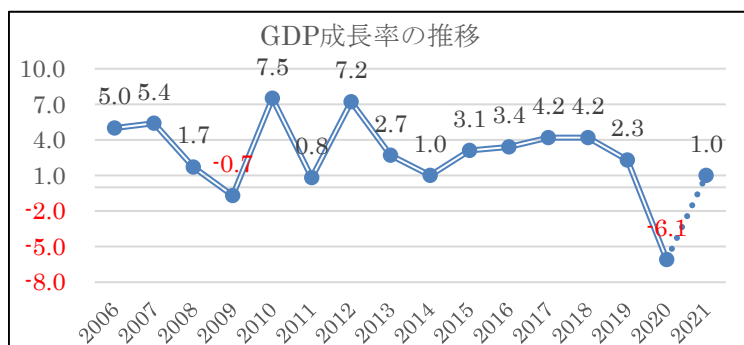
8月のタイは1日当たりの新型コロナ新規感染者数が2万人を超える日が続き、8月3日には厳格最高管理区域(ダークレッドゾーン)が、全国77都県中29都県まで拡大されました。ロックダウン中もスーパーや薬局は営業しているほか、食事においてもフードデリバリーサービスで対応するなど、一定の生活には影響がないものの、日用品については、届くまで日数がかかるほか、理容・美容室が閉鎖されるなど一部の生活には支障が出ています。

8月後半は1日当たり2万人を下回る新規感染者数となる日や、回復者数が上回る日も増えていることから、来月には行動制限が一部緩和されるとの見方が出ています。早期の規制緩和を願う一方で、感染再拡大への懸念とそれによる経済への影響を考えると悩ましく感じているところです。

2. 当地ビジネス情報 (2021年 GDP 成長率予測の修正)

タイの新型コロナ感染が深刻化している影響で、2021年の国内総生産(GDP)予測を下方修正する動きが出てきました。カシコン銀行グループのカシコンリサーチセンターでは他社に先駆けて、GDP成長率の見通しを1.8%から1.0%と発表しています。タイでの第3波の影響を受けて当初予測の2.6%から1.8%に引き下げていましたが、全国的な感染拡大やロックダウンにより、更に下方修正をしたものとなりました。また直近のタイ経済団体の予測では、成長率マイナス1.5~0.0%という厳しい数字が発表されています。

また、同センターは、2021年にタイを訪れる外国人旅行者数について15万人となる予測を発表しています。こちらは当初200万人と予測していましたが、感染拡大とともに大幅に下方修正したものとなりました。今年1月~6月までの外国人旅行者数は約4万人に留まりましたが、世界中でワクチン接種が進み、さらにタイ国内での感染拡大を抑えることが出来れば、第4四半期は増加に転じることが見込まれ、来年以降には多くの観光客が訪れる活気あるタイに戻ることが期待されます。



出所: NESDC(21年予想はカシコンリサーチセンター)

単位:人

月	外国人観光客数	(うち日本人)
1月	7,649	64
2月	6,110	223
3月	6,737	212
4月	8,529	304
5月	6,052	211
6月	5,694	274
合計	40,771	1,288

出所: Ministry of Tourism and Sports

3. 現地トピックス (タイでも観られる日本映画!)

タイでも日本発の映画を観ることができるのはご存知でしょうか? 特にドラえもんやドラゴンボール、最近ではワンピースやコナン、鬼滅の刃などの人気が高く、タイ語の字幕がついた日本語版の上映を選択することで日本人も問題なく鑑賞できます。

タイの映画館は、鑑賞料金が約200~300バーツ(約700~1,000円)で、内装も豪華です。しかし、上映期間は短い場合が多く、1週間ほどで上映終了となる作品もあります。私も今年4月公開のコナンの映画を観ようとしたところ、ちょうど新型コロナ感染拡大によるバンコク市内の映画館閉鎖と重なり、残念ながら観ることができませんでした。

コロナが収束して、のんびりと映画鑑賞ができる日が来ることを楽しみにしている今日この頃です。



映画館に設置されたパネル

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・軽部・高橋 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)